

日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座

工原 No.1【工業簿記の基礎】

収録日：平成 25 年 12 月 19 日

工業簿記&原価計算の基礎知識

1. 商業簿記と工業簿記の違い

<商業簿記は 2 級の論点を復習しながらでも対応可能

<工業簿記・原価計算は、2 級の内容をしっかりと学習しないと躓きます

2. 営業利益の計算

次の資料 1～3 により、営業利益を計算しなさい。

【資料】

1. 期首残高

主要材料	2,000 千円	仕掛品	4,000 千円
補助材料	800 千円	製 品	6,000 千円
2. 期中取引
 - (1) 材料掛仕入高

主要材料	30,000 千円	(消費額は直接材料費とする)
補助材料	1,600 千円	(消費額は間接材料費とする)
 - (2) 当期貸金支払高

直接工賃金	8,000 千円	(消費額は直接労務費とする)
間接工賃金	10,000 千円	(消費額は間接労務費とする)
 - (3) その他の諸経費支払・発生高

間接経費	15,000 千円
販売費及び一般管理費	30,000 千円
 - (4) 当期売上高
3. 期末有高

主要材料	1,000 千円	仕掛品	3,000 千円
補助材料	400 千円	製 品	4,000 千円

3. 工業簿記の財務諸表

実際原価計算を行っている CMC 社の下記の資料に基づき、製造原価報告書及び損益計算書を作成しなさい。製造間接費の予定配賦から生ずる原価差額は、売上原価に課するものとする。

【資料】

(単位：千円)

(1) 直接材料期首有高	40,000	(10) 直接材料期末有高	30,000
(2) 仕掛品期首有高	30,000	(11) 仕掛品期末有高	25,000
(3) 製品期首有高	50,000	(12) 製品期末有高	60,000
(4) 直接工賃金期首未払高	15,000	(13) 直接工賃金期末未払高	18,000
(5) 販売費及び一般管理費	20,000	(14) 直接材料当期仕入高	100,000
(6) 製造間接費当期予定配賦額	75,000	(15) 直接工賃金当期支払高	50,000
(7) 間接材料費当期実際発生額	16,000	(16) 売上高	300,000
(8) 間接労務費当期実際発生額	25,000	(17) 営業外収益	50,000
(9) 間接経費当期実際発生額	39,000	(18) 営業外費用	5,000

製造原価報告書

20X2年4月1日～20X3年3月31日 (単位：千円)

I 直接材料費		
期首棚卸高	()	
当期仕入高	()	
計	()	
期末棚卸高	()	()
II 直接労務費		()
III 製造間接費		
間接材料費	()	
間接労務費	()	
間接経費	()	
計	()	
製造間接費差異	()	
製造間接費配賦額		()
当期総製造費用		()
期首仕掛品棚卸高		()
合計		()
期末仕掛品棚卸高		()
当期製品製造原価		()

損益計算書

売上高

売上原価

期首製品棚卸高
当期製品製造原価
計
期末製品棚卸高
差引
原価差異
売上総利益
販売費及び一般管理費
営業損失
営業外収益
営業外費用
経常利益